

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
ITU-R 部会 科学業務委員会（第 19 回）議事概要（案）

- 1 日 時 平成 22 年 5 月 14 日（金） 14 : 00～16:30
- 2 場 所 総務省 共用 10 階会議室
- 3 議 題
  - (1) 科学業務委員会（第 18 回）議事概要（案）について
  - (2) ITU-R SG7 関連会合（2009 年 9 月開催）報告について
  - (3) ITU-R SG7 関連会合（2010 年 6 月開催予定）への対処について
  - (4) その他
- 4 配付資料
 

資料 科-19-1	科学業務委員会（第 18 回）議事概要（案）
資料 科-19-2	2009 年 9 月 ITU-R SG7 関連会合報告書（案）
資料 科-19-3	ITU-R SG7 関連会合について
資料 科-19-4	ITU-R SG7 関連会合への日本寄与文書（案）
資料 科-19-5	ITU-R SG7 関連会合への外国寄与文書審議表（案）
資料 科-19-6	ITU-R SG7 関連会合への対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG7 関連会合開催案内
参考資料2	今後の予定（案）
参考資料3	科学業務委員会構成員名簿
- 5 出席者（敬称略、順不同）
 

主査 : 井口 俊夫（NICT）

専門委員: 池上 健(AIST)、大石 雅寿(国立天文台)、大矢浩(JAXA)、加保貴奈(NTT)、黒田 徹(NHK)、小林 秀明(ITU 協会)、佐藤 祐子(東芝)、千葉 華久子(KDDI)、水野 秀樹（東海大学）

関係者: 新 博行（NTT ドコモ）、岩間 司（NICT）、菅野 典夫（三菱電機）、曾根 裕（JAXA）、繁田 勉（JAXA）、齋藤 正敏（JAXA）、田呂丸 義隆（JAXA）、立澤 加一（国立天文台）、野口 英毅（海上保安庁）、肆矢 雄三（気象庁）

事務局: 住友衛星開発推進官、佐藤係長、齋藤（以上、宇宙通信政策課）  
田邊課長補佐（電波環境課）
- 6 議事概要
  - (1) 科学業務委員会（第 18 回）議事概要（案）について  
井口主査より、資料 科-19-1 を確認の上、意見等あれば事務局まで申し出るように周知された。
  - (2) ITU-R SG7 関連会合（2009 年 9 月開催）報告について  
資料 科-19-2-1 に基づき 前回 WP7A 会合について NICT 岩間氏より、資料 科-19-2-2 に基づき 前回 WP7B 会合について JAXA 繁田氏より、資料 科-19-2-3 に基づき前回 WP7C 会合について JAXA 田呂丸氏より、資料 科-19-2-4 に基づき前回 WP7D 会合について国立天文台 立澤氏より、資料 科-19-2-5 に基づき 前回 SG7 会合について JAXA 田呂丸氏より、それぞれ報告があった。質疑応答は特になし。

(3) ITU-R SG7 関連会合（2010年6月開催予定）への対処について

・ **SG7 関連会合について**

資料 科-19-3に基づき、事務局から説明を行った。

・ **日本寄与文書（案）の審議**

日本寄与文書（案）について、担当者より説明が行われた。審議の結果、提案のあった4件の寄与文書について記述の修正等を検討した上で、ITU-R 事務局へ提出することとなった。

**資料 7B/J-1 (JAXA 繁田氏)**

「SHARING STUDY FOR HIBLEO-TYPE INTER-SATELLITE LINK IN THE 22.55-23.55 GHZ BAND UNDER WRC-12 AGENDA ITEM 1.11」

（WRC-12 議題 1.11 に関する、22.55-23.55 GHZ 帯における HIBLEO-タイプ衛星間通信との共用検討）

→下記の質疑等の後、承認された。

大石氏：この共用検討結果を反映したレポートの修正提案も寄与文書として出すのはどうか。

繁田氏：同様の評価を NASA や ESA も行っているところで、WP7B においてそれをレポートに反映するかが審議される見込み。取りあえず寄与文書の提出は予定していない。

水野氏：イリジウム衛星-ゲートウェイ局間と、SRS との干渉については検討されていないのか。

繁田氏：イリジウムのフィーダリンクはまた別の周波数を利用しているため、検討対象としていない。

**資料 7B/J-2 (JAXA 繁田氏)**

「SHARING STUDIES BETWEEN SRS AND MSS IN THE 7145-7235MHZ AND 8400-8500MHZ BANDS UNDER WRC-12 AGENDA ITEM 1.25」

（WRC-12 議題 1.25 に関する、7145-7235MHZ 帯および 8400-8500MHZ 帯における SRS と MSS との共用検討）

→下記の質疑等の後、修正がなされ、メール審議により承認された。

大石氏：Conclusion の部分に、検討の結果としてどれだけ離隔距離が必要になったかを書いたほうが、分かりやすくてよいのではないか。

繁田氏：了解した。

**資料 7C/J-1 (JAXA 田呂丸氏)**

「UPDATE PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R RS.1347 FEASIBILITY OF SHARING BETWEEN RADIONAVIGATION-SATELLITE SERVICE RECEIVERS AND THE EARTH EXPLORATION-SATELLITE (ACTIVE) AND SPACE RESEARCH (ACTIVE) SERVICES IN THE 1 215-1 260 MHz BAND」

（勧告 ITU-R RS.1347 の改訂案 1 215-1 260MHz 帯における無線測位衛星業務受信機と、地球探査衛星（能動）および宇宙研究（能動）業務との共用可能性）

→下記の質疑等の後、承認された。

事務局：この共用検討に関し、RNSS を運用する米、ロシア等とはコンセンサスは取れているのか。

田呂丸氏：個別に対応したわけではないが、WP4C 側には情報提供をしており、4C 側もこの勧告を参照したレポートを作成していることから、合意されたものと考えている。

事務局：了。

#### **資料 7C/J-2 (JAXA 田呂丸氏)**

「Proposal for a liaison statement to ITU-R Working Party 4C regarding the technical characteristics of RNSS systems in the frequency band 1 215 -1 300 MHz」

(1 215-1 300MHz 帯における RNSS システムの技術特性に関する WP4C へのリエゾン提案)

→特に質疑なく、日本寄書として承認された。

#### **・外国寄与文書審議表 (案) の審議**

外国寄与文書審議表 (案) の重要度 B 以上の審議表について、事務局より説明が行われた。主な質疑は以下の通り。

#### **O7D/146**

大石氏：本寄書の対処方針について、「情報」扱いとなっているが、80MHz 以上の共用検討を進めるために、7D 側の情報提供を行うのは必要であると考えるが、いかがか。

田邊補佐：WP7D から RAS の情報提供するリエゾンが発出されることを止めるつもりはない。ただ、日本として国内との整合性を確認できない情報が発出されることに対する懸念もあるため、リエゾン発出をわざわざ自ら求める発言はせず、情報扱いとさせていただいた。

大石氏：WP1A としては検討の前提条件を揃えるために求めているだけであり、今の発言はその作業進捗すら協力しないということにほかならない。国内規制との整合・不整合を求めているわけではなく、80MHz 以上の情報が欲しいと要求されているだけ。

井口主査：その「情報」の範囲がどの程度まで求められているのかで解釈も変わってくるであろう。

大石氏：80MHz 以上の情報が求められていることは前回 WP1A 会合に出席している環境課は理解されているはず。

黒田氏：本件内容は WP6A でも議論が行われたが、共用検討を行うための public な必要情報を提供することには賛成する。

田邊補佐：80MHz 以上に関するリエゾン作業が行われることは差し支えない。心配性なだけかもしれないが国内制度との整合が取られるよう担保されなければと考える。

井口主査：それでは、条件つきで「情報」という扱い、その上で意見を記載することではどうか。

大石氏：WP7D ではすでに 80MHz 以下のレポートを WP1A に対し情報提供しており、それをあらためて連絡することはあり得ず、WP7D でどうこういうつもりはない。それでは、意見としては「80MHz 以上の帯域についてはリエゾンを出すことは差し支えない」といったところか。

田邊補佐：「ただし、我が国制度との整合が取られるよう対応する」といった文

言も追記しておいていただけたら。

井口主査：それは「80MHz 以上」という文言がある時点で担保されているような気もするが。

田邊補佐：いただいたご意見を踏まえ、持ち帰って検討させていただく。  
→その後関係者間で調整が図られ、上記の通り対処方針が変更になった。

(4) その他

事務局より今後の予定等について説明があった。